

# 地域の森林資源循環利用システムの確立を目指して ～大槌・気仙川流域における木材加工施設整備の取り組み～

## 三位一体の取り組みで 地域の活性化に貢献



ギャングリッパによる加工  
(協同組合さんりくランバー)

けせんプレカット事業協同組合

三陸木材高次加工協同組合

協同組合さんりくランバー

代 表 者：(代表) けせんプレカット事業協同組合  
理事長 鈴木忠四郎

事業体の構成等：

けせんプレカット事業協同組合 (出資団体 102 団体)

三陸木材高次加工協同組合 (出資団体 18 団体)

協同組合さんりくランバー (出資団体 9 団体)

(代表 けせんプレカット事業協同組合)

〒029-2311 岩手県気仙郡住田町世田米字田谷 27-2

TEL : 0192-46-2757

FAX : 0192-46-2882

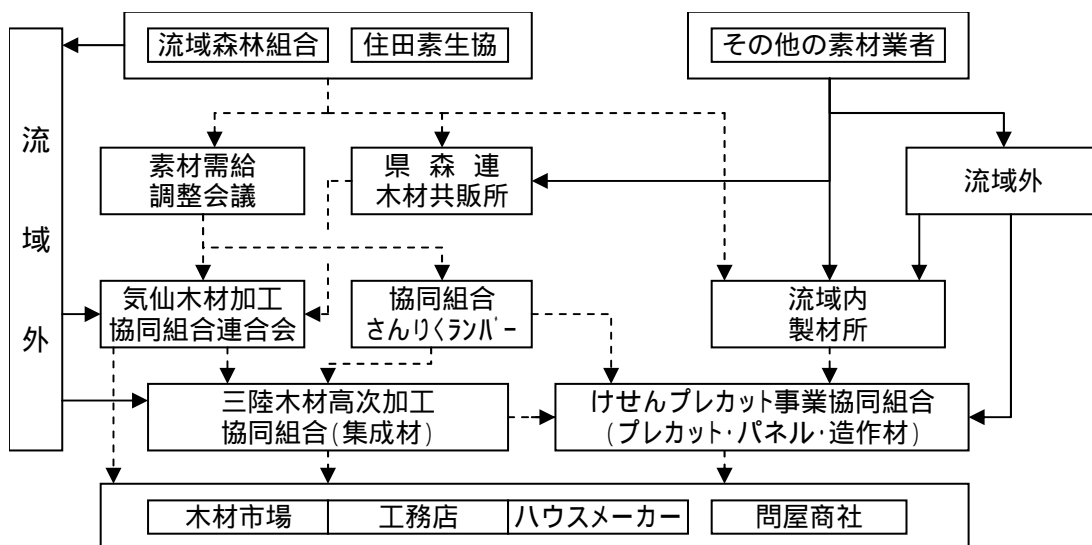
URL : <http://www.ginga.or.jp/%7Esew>



岩手県

けせんプレカット事業協同組合  
三陸木材高次加工協同組合  
協同組合さんりくランバー

### 事業の仕組み



## 事業の目的、内容等

### (1) 地域の概要

大槌・気仙川流域は、岩手県沿岸南部地域に位置し、大船渡市、陸前高田市、住田町、釜石市、大槌町の3市2町を包括しており、流域面積153千haのうち森林面積は133千haとなっており、森林率が87%と、県平均より約9%高くなっている。

県内では比較的温暖な地域で、古くからスギを中心とした豊かな森林資源に恵まれており（人工林率52%。うちスギの占める割合が6割。）素材生産業や製材業が盛んであったが、木材需要構造が変化してきており、消費者のニーズに対する的確に対応し、地域材の流通を円滑に行っていくことが大きな課題となっている。

### (2) 事業の概要

上記の課題に対応するため、住田町を拠点として、より消費者に近い木材加工施設を先に立ち上げ、そこから求められる木材を供給する施設を整備するという考え方（川下から川上に向かって必要な施設を整備）で加工施設の整備が行われてきた。

まず、平成5年度に、地域材のプレカット加工を行う「けせんプレカット事業協同組合」（以下「けせんプレカット」という。）が設立され、

仙台市を中心とした地域ビルダー向けの部材供給拠点として順調に業績を伸ばし、平成15年度には20億円の売上を実現している。

また、平成10年度には、地域のスギ間伐材を有効活用し、安定性能・高精度の集成材加工の実現を図るため「三陸木材高次加工協同組合」（以下「三陸木材」という。）が設立され、けせんプレカット向けスギ集成管柱、梁などの生産を軸に、平成15年度には約10億円の売上となっている。

さらに、平成13年度には、地域材利用を促進し、上記加工施設がさらなる競争力を備えるため、集成材工場向けラミナ及び小幅板の供給を行う「協同組合さんりくランバー」が設立され、ラミナ専用ノーマン製材ラインによる製造コストの圧縮、原木の高価買取による高品質ラミナの安定供給体制の整備が図られ、流域の森林所有者に利益を還元するシステムの骨組みが完成した。（施設整備の概要については、表-1参照。）

なお、これらの事業体は、同流域の気仙地方森林組合を中心に進めていたFSCの森林管理認証の取得と連動して、加工・流通分野のCoC認証を取得し、国内初の川上から川下まで一体となった生産・加工・流通認証の同時取得を実現している。

表-1 施設整備の概要

（平成16年12月現在）

事業主体	事業内容（ ）は工場整備年度	その他
けせんプレカット事業協同組合	在来プレカット加工（H5、6）金具プレカット加工（H14）パネル加工（H10）造作材加工（H12）ペレット製造（H15） 保有乾燥機台数 5台	けせんホーム設立（H7） AQ認証取得（H11） CoC認証取得（H15）
三陸木材高次加工協同組合	集成材加工（H10、11、12、13）防腐・防蟻加工（H10） 保有乾燥機台数 10台	AQ認証取得（H13） CoC認証取得（H15）
協同組合さんりくランバー	ラミナ製造（H14） 保有乾燥機台数 4台	CoC認証取得（H15）

## 事業の実績、成果

これらの事業体は、「事業の仕組み」の中で互いに連携して、順調に業績を伸ばしており、平成15年度は売上高が対前年比で約3割増加し、平成16年度においても、前年度の売上高を上回る勢いで製品生産が行われるなど、地域経済に対し大きく貢献している。(表-2、表-3参照)

また、FSCの森林認証の取得に当たっては、検討会の段階からメンバーに入って積極的に取り組み、川下のみならず川上の自然環境についても関心・責任を持って事業活動に反映しており、これらの取組みが審査員の高評価を受け、

CoC認証の取得に至っている。

さらに、木質バイオマスエネルギーの利活用を推進している岩手県・住田町と連携し、木質バイオマスエネルギー供給・利用のモデル的施設として、平成12年度には三陸木材に木屑焚きボイラーが、平成15年度にはけせんプレカットにペレット製造施設が設置されるなど、森林整備の推進と工場内のゼロエミッションの両立に取り組んでいる。

なお、これら3事業体で約180名の雇用を創出しており、地元の高校新卒者を重点的に雇用することにより、若年者の地元定着に多大な貢献をしている。

表-2 三陸木材高次加工協同組合～直近4カ年の販売実績～

製品	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
集成材	6,378 m <sup>3</sup>	8,044 m <sup>3</sup>	11,296 m <sup>3</sup>	14,498 m <sup>3</sup>
乾式防腐	1,749 m <sup>3</sup>	1,800 m <sup>3</sup>	1,857 m <sup>3</sup>	1,017 m <sup>3</sup>

表-3 けせんプレカット事業協同組合～直近4カ年の販売実績～

製品	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
金具プレカット	-	-	538 棟	860 棟
在来プレカット	511 棟	476 棟	86 棟	170 棟
パネル	239 棟	356 棟	294 棟	481 棟
造作材	517 m <sup>3</sup>	1,837 m <sup>3</sup>	2,400 m <sup>3</sup>	3,731 m <sup>3</sup>

## 今後の取組み

さんりくランバーが本格稼働を開始したことにより供給体制の安定化が図られ、けせんプレカットにおいて大口受注者への安定的な取引が可能となったことを受け、取扱量の増加や乾燥材のニーズの高まりに対応するため、さらなる乾燥材生産体制の強化を計画している。

また、けせんプレカットが拠点となり、構造

材、羽柄材、パネル枠材、造作材等の住宅一棟分の木材をトータルで供給することを目指しており、さらにきめ細かな顧客ニーズに対応することとしている。

なお、今後は、工場内のゼロエミッション及びコジュネレーションの実現に向け、生産工程において発生する製材端材等を燃料として木材乾燥や発電を行うため、木屑焚きボイラー及び発電施設を設置することとしている。

## 現地調査結果の概要

調査担当

鈴木武

((財)林政総合調査研究所 客員研究員)

井原恭子

((財)日本木材総合情報センター)

### 1. 事業主体の設立経過

地域製材品の高付加価値化を目指して、平成5年にけせんプレカット事業協同組合が設立され、工場は翌6年から稼働を開始した。事業は初年度から計画の162棟を上回る223棟の実績

をあげ、7年は294棟、8年400棟と着実に実績を増加したが、国産材の利用は約3割にとどまり、国産材利用率をあげるためにはプレカットに適した国産材の供給を集成材によって増やす必要に迫られた。

こうした声を受けて、住田町林業振興協議会はスギによる集成材の試作、強度試験、市場調査などを行い、その可能性について検討した(1997年2月報告)。3年にわたる検討・合意形成を経て、平成10年『三陸木材高次加工協同組合』が設立され、さらにそのラミナ供給を目的に『協同組合さんりくランバー』が平成14年創設され、1つの団地内に3協同組合が稼働している。

### 2. 3 協同組合設立による効果

地域材利用の拡大 国産材利用率は平成7年の3割から16年には82%へ  
材積は929 m<sup>3</sup>から13,545 m<sup>3</sup>へ14.5倍に増加した。

地域経済への貢献 直接雇用する172人の他、素材生産、輸送など地域経済への貢献は大きい。

	けせんプレカット	三陸高次加工	さんりくランバー	合計
従業員数	105人	51人	16人	172人
売上高	30億円	14.8億円	3.7億円	48.5億円

地域循環エコシステム構築への貢献 ア) 徹底した端材の活用 = プレカット工場・集成材工場では端材を活用して回縁・長押・間柱・パネル枠・障子・襖など徹底した端材利用を進めている。

イ) 残廃材は工場熱源として利用するほか、ペレットを生産。平成17年度にはバイオマス発電設備を設置、工場で使用するほか余熱は周辺園芸施設で利用するなど団地内ゼロエミッションに取り組む。

ウ) 気仙地方森林組合を中心に森林認証を取得したのに連動し、保続的経営森林材の利用認証を取得し、川上から川下まで一体となった環境認証を実現。

### 3. 事業の展望

- ア) プレカットは軸組プレカットにとどまらず、各種部材（前掲の和室部材など）の生産、建て方請負など納入先のニーズに対応。最初に設置したプレカットラインは償却を終えて、陸前高田に移転、その後は金具プレカットラインを設置、事業を拡大。



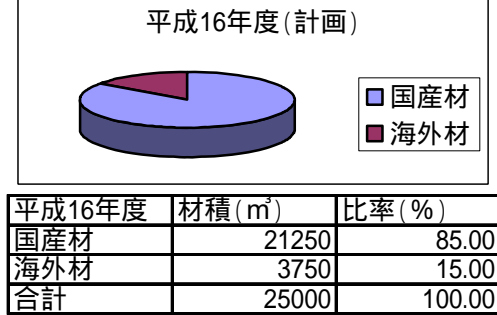
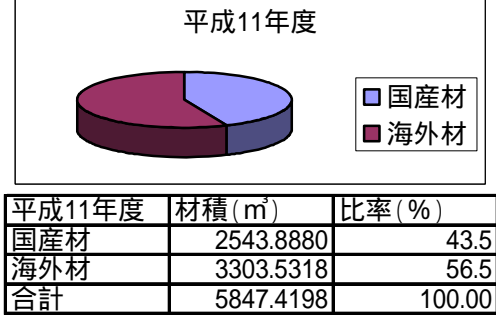
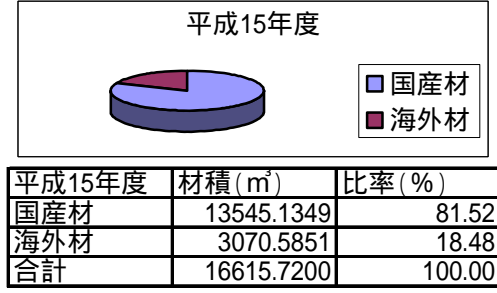
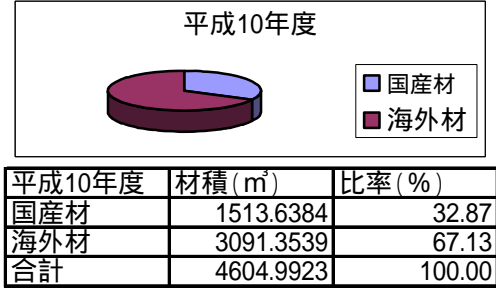
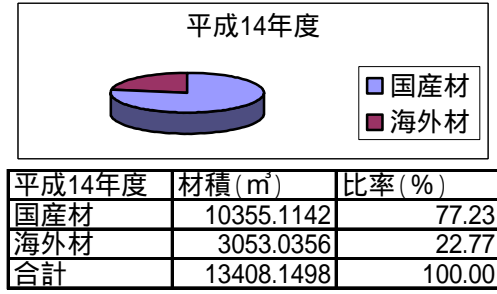
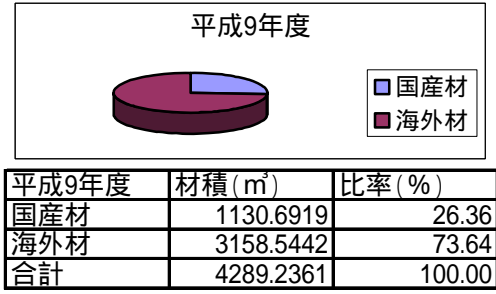
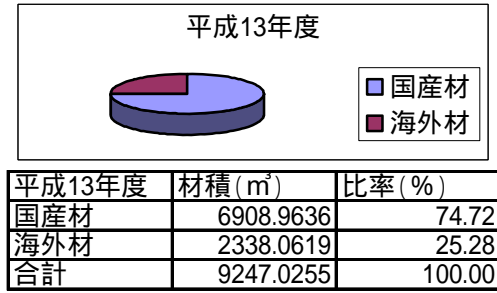
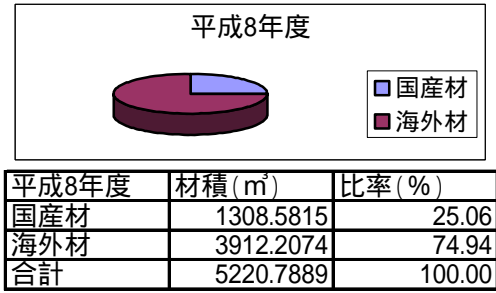
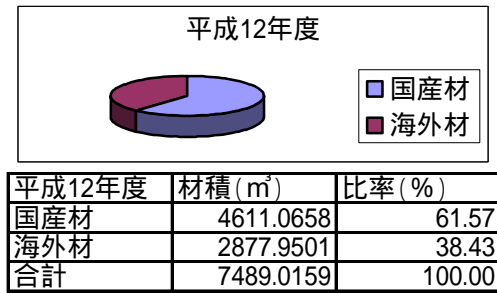
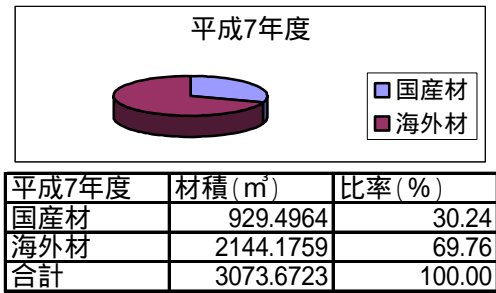
三陸木材高次加工（協）集成材

- イ) 各協同組合とも販売優先で事業を進めており、プレカットはレオパレス 21、スモリ工業、土屋ホーム、三井ホームなど。高次加工は古川林業、関東のプレカット工場など安定顧客を開発。順調に業績をあげている。



乾式防腐施設  
（三陸木材高次加工協同組合）

国産材・海外材 比率一覧表  
(プレカット+パネル+羽柄 造作)



土台	国産唐松集成材(ニッサンクリーン)	} 国産材
柱	国産唐松杉集成材(さんもく・ウッティかわいい)	
桁・梁	国産唐松杉集成材(さんもく・ウッティかわいい)	
羽柄材・パネル	杉KD材・杉集成材(けせんプレカット)	
造作材・建具材	杉KD材・杉しんまさ(けせんプレカット)	
		けせんプレカット事業協同組合